〔質問・意見等〕

先日自治会向けの説明会にて建設についての説明を聞いてきました。そこで配布された設計図を見て、その豪華さに大変驚きましたので質問させていただきます。(箇条書きで失礼します。)

●都市計画税導入の説明会で市長さんは、市長に就任されてから野洲小学校を視察された時に、ホテルの様な玄関、教室にも使えない和室、教室を増やせないつくりに驚いた。保育所はアスベスト(これは後で確認しましたら対処済だそうですが)で、耐震性 0、保育所も建替えないといけない状態なのに、こんな豪華なものを作ってとおっしゃった。保育所の現状を初めて聞き、大変驚いたので記憶しております。

なのに駅から徒歩2分という最高の場所に鉄筋コンクリート3階建、各部屋(6部屋)に給湯室があり、各階に更衣室と脱衣室がある学童保育所・・・

何故こんなに豪華な学童保育所が必要なのでしょうか?

【回答】

① 保育所の整備について

今後の保育所の整備につきましては、本年度に耐震化の必要な施設の整備計画を策定し、今後、順次整備に向けた取組みを進めていきます。

なお、ご指摘の保育園は、野洲第一保育園と考えられますが、当園では、平成１９年度に耐震診断を実施した際、作業の障害となる部分についてアスベストの除去を行った経過はありますが、他の部分については天井材により封じ込められた状況で、除去作業は行っておりません。今後建物の改修・改築などを実施する際にあわせて除去する予定です。なお、現在安全な状況であり、保育室内の大気測定の結果も、戸外の空気中濃度と変わらない数値であり、問題はありません。

② 学童保育所の整備の必要性について

学童保育所については、放課後等に保護者が家にいない児童に対し、安全な居場所を提供する目的で実施しており、共働き家庭の増加とあいまって、その必要性が高まっています。野洲市においてもここ数年来、定員を上回る申し込み希望があることから、放課後の教室を利用して「放課後子ども教室」を実施していますが、１施策２制度の不合理性を解消するため、放課後等の居場所として学童保育所へ制度を一元化することとしました。財政状況が厳しい状況下にありますが、学童保育所の整備は、市政の重要課題として位置づけ、国県の補助制度等を利用しつつ必要な施設整備を実施していくこととしました。

特に、野洲小学校については、小学校自体の教室が不足している状況にあり、現在学童保育所として利用している南館も学校本来の利用形態に戻す必要があり、学童保育所の移転が急務となっていました。

③ 野洲学童保育所の建設場所について

建設場所につきましては、そもそも学童保育所の立地は「学校敷地内が理想」とされており、これが無理なら、児童の移動の安全と利便性から学校の近傍地で探すことが適当であると考えています。そのような中で、現在の野洲小学校敷地は極めて狭小でその余地は全く無く、さらに、学校の周辺は建物が建て込んでいる民地で、これら民地の立ち退き、買収は現実的にも困難との結論に達しました。

このような事情から野洲小学校から直近の市有地として文化小劇場駐車場を建設用地にするこ

とを決断しました。

なお、学童保育所は、子育て支援のための重要な施策の一つであると認識していますので、野洲小学校から直近の位置にあり、かつ、保護者の送迎の利便性も高い文化小劇場前の駐車場は、適地であると考えています。

④　施設の規模及び内容について

学童保育所における集団の規模は、厚生労働省が定める「放課後児童クラブガイドライン」ではおおむね４０人程度、野洲市において制定している「野洲市放課後児童クラブ運営基準」においては４０人としています。このことから、４０人をひとつの単位として、今後の必要見込み数から建物の規模を決定し、４０人×６単位として、２４０人としたものです。

なお敷地の関係で３階建てとしたため、衛生面や健康管理上必要なトイレやクールダウンのための部屋、保育を行う上で日常的に必要となる給湯室、更衣室、脱衣所などの設備は児童数に見合った数を各階に配しています。

また、建物自体の設計に当たっては、出来るだけ安価となるよう主体構造を鉄骨造とし、内外の仕上げ等についても可能な限り廉価な材料を採用しておりますので決して贅沢なものとはしていません。

〔質問・意見等〕
●新しい施設では 290 名の定員を見込んでいるとあります。大人数ですが、校庭や体育館で遊ぶ為の移動はどのようにされるおつもりですか？

【回答】

①　施設の定員について

新築する施設の定員は、２４０人規模となります。

②　保育中の移動について

学童保育所と学校間の距離は約１００メートルしかなく、またほぼ歩道が整備されていますので、保育中の移動は安全であると考えています。市道の横断が必要な箇所では適切な見守り業務を実施する予定です。

〔質問・意見等〕
●イベントがある時は満車になる文化ホールの駐車場が一段と少なくなります。
少なくなった分はどう対応されるのか教えてください。

【回答】

今般の施設整備により文化小劇場の駐車場が２０台程度減少することになりますが、これに対しましては、近傍地（ＪＡ所有地）を借用することにより、１５台程度の駐車スペースを確保しております。

〔質問・意見等〕
●過去の意見を読ませて頂きました。
その中で、別の小学校の学童建設の質問への回答で首をかしげる点がありました。
説明会でも意見させていただきましたが、2年前は、子供教室に入るために一旦学童への申し込みをしなければならなかたんです。
長期の休みだけ子供教室で預かって欲しいという家庭でも。
それを学童への申し込みが多く、、、という説明は紛らわしいと思います。
現在は 4 年以上は子供教室と決まっているそうですが、その為低学年のお子さんが待機児童になっている・・・一番の被害者は子供達ではないでしょうか？

【回答】
従来から学童保育所により放課後の児童の居場所を提供していましたが、平成18年頃、学童保育所の定員を大きく上回る入所希望があり、待機児童が問題化したことから、その対策として平成19年度に長期休暇中のみの事業として子ども教室がスタートしています。その経緯から「学童への申し込みが多く・・・。」などの表現を行ったものです。子ども教室のみを希望する人の数を上乗せし、学童保育所への入所を希望する人の人数を過大に表示するなどの意図はありません。
なお、前年秋の受付期間中に申し込みをされた場合には待機となった例はありませんが、受付期間以後の申し込みについては、①施設の定員と、②子ども教室に関しては放課後の教室を利用する関係で学校課業期については、１～３年生は子ども教室の選択が出来ないという二つの理由により入所待機となっている人が数名存在します。
このような制度上の問題を解消するために、子ども教室と学童保育を一元化するものであり、急なニーズにもできるだけ応えられるよう、施設の拡充を実施するものです。

〔質問・意見等〕
●説明会の最後に駅前開発のお話もされました。
野洲駅の下に地下道路を通す、三上山のふもとに温泉を掘る・・・・・今後野洲駅前、野洲市がどうなっていくのか不安でなりません。
財政難と言っておきながら豪華施設を建設する、駅前の開発を進めると言っておきながら徒歩 2 分の貴重な場所に学童保育としてのみ利用する施設を建設される事が理解できません。

【回答】
今、市が説明いたしております「駅前の開発」とは、特に雨天時の朝夕に極度に混雑しております南口ロータリーの混雑緩和のための駅前広場の改良と、周辺道路の歩道のバリアフリー化のための工事などで、今日まで多くの駅利用者の方から要望の強かった事業ばかりです。「開発」からイメージされる大規模な再開発のことではありません。
野洲駅地下の道路の連結や三上山のふもとの温泉掘削検討に関しては、「野洲駅前中心市街地整備計画」に掲げている事業例ですが、事業化にあたっては、十分な検討が必要であると考えています。
また、学童保育所は先述のとおり豪華施設ではありませんし、財政難であったとしても子育て支援のために実施すべき必要な施策であると認識していますので、野洲小学校から直近の位置にある

市有地として文化小劇場駐車場を建設候補地としたものです。

なお、建設予定地は今回の「駅前の開発」のエリア外となっています。

〔質問・意見等〕

●こちらのホームページを見なければ、他の学区での学童建設も知りませんでした。

今回の野洲小学校の学童は小ホールを潰しての建設です。全市民が知る必要があるのではないでしょうか？

広報へ詳しい図面を載せて頂く事を希望します。

【回答】

学童保育所の施設整備や子ども教室との一元化については平成２１年９月の条例改正時以降、建設計画立案時、予算策定時などにその都度市議会へ報告し、ご議論いただいた上、議決・承認をいただいております。また、「広報やす平成２２年度４月号」に本年度の主要施策として紹介しているほか、都市計画税の懇談会を開催した際にも、説明をしています。

なお、広報への詳細図面の掲載については紙面が限られていることから、市の計画する建築物の詳細図等については従来から掲載しておりませんが、ホームページ上で公開することについてはその可能性について検討します。